

漫画で学ぼう！

まんが
まな

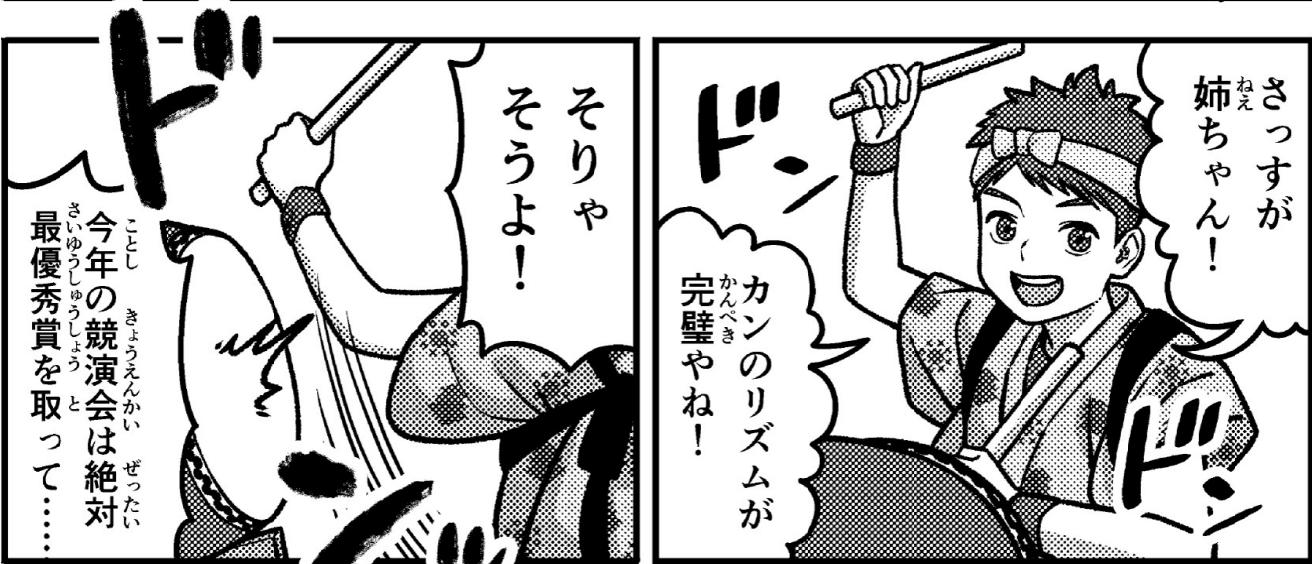
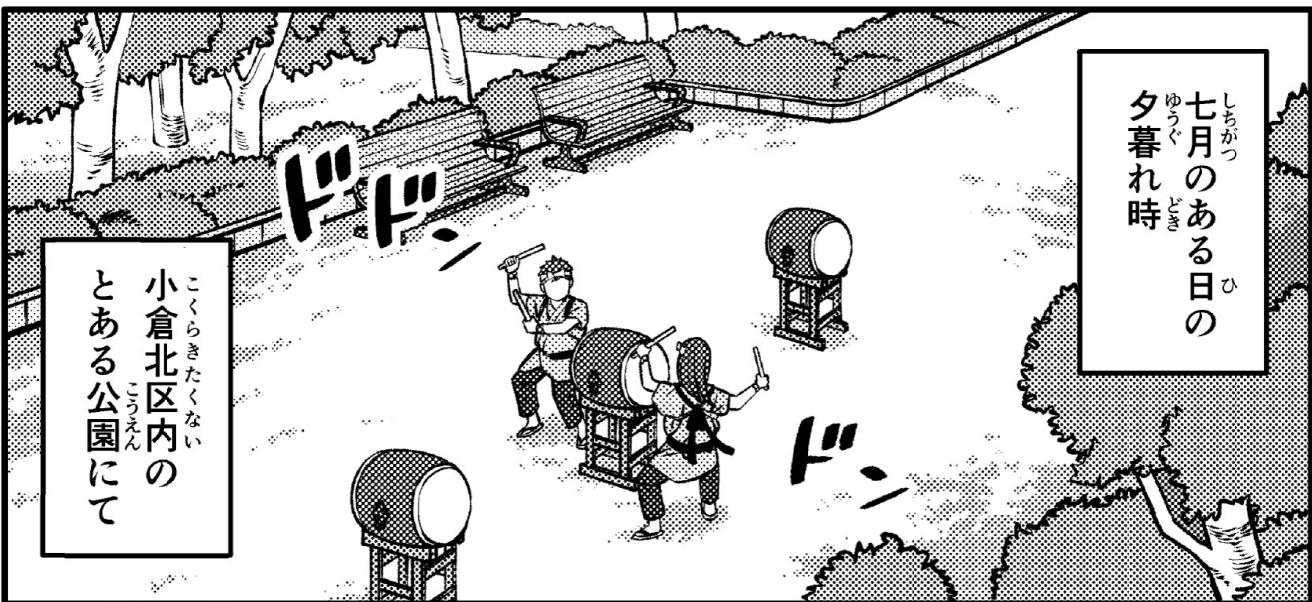
小倉祇園太鼓

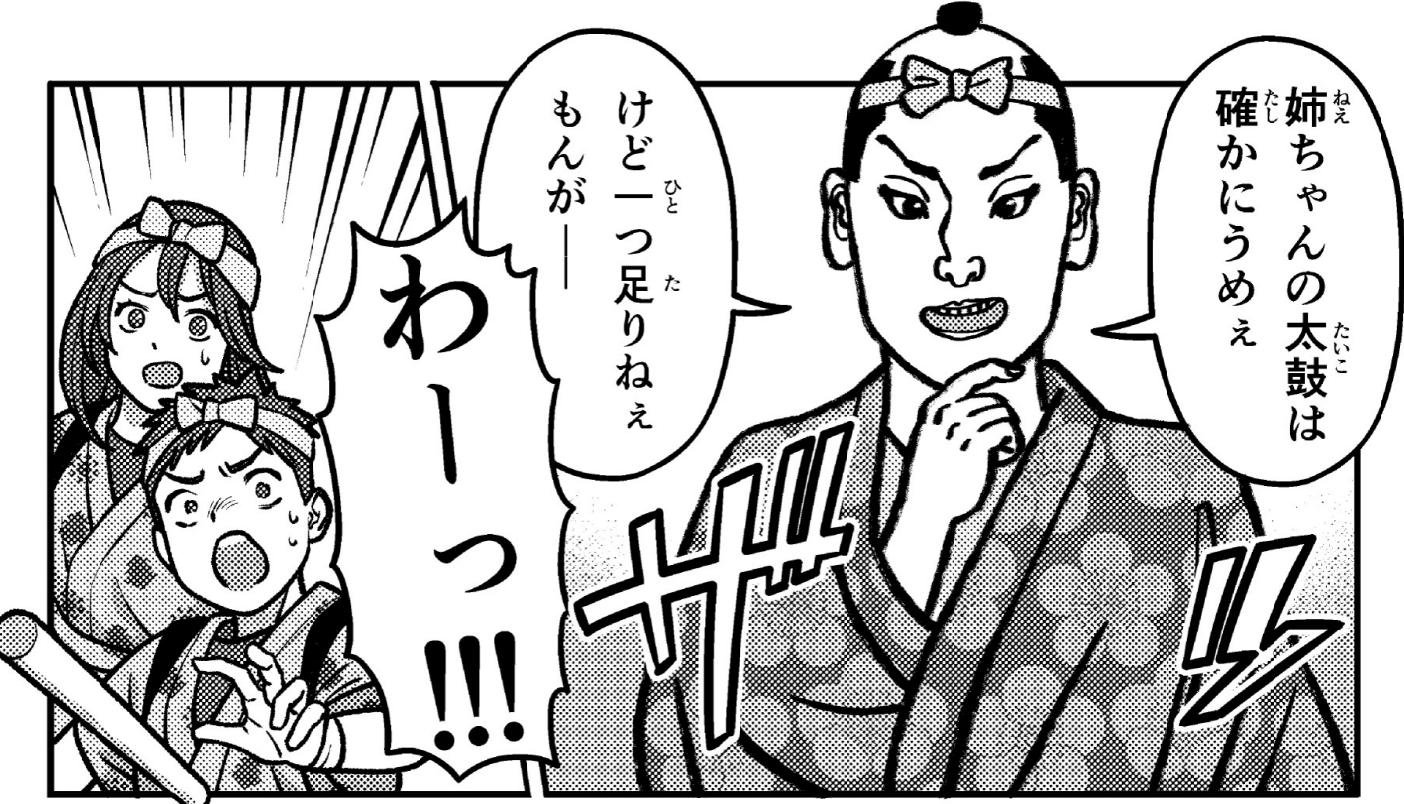
こくらぎおんだいこ

姉ちゃんの太鼓は
確かにうめえ

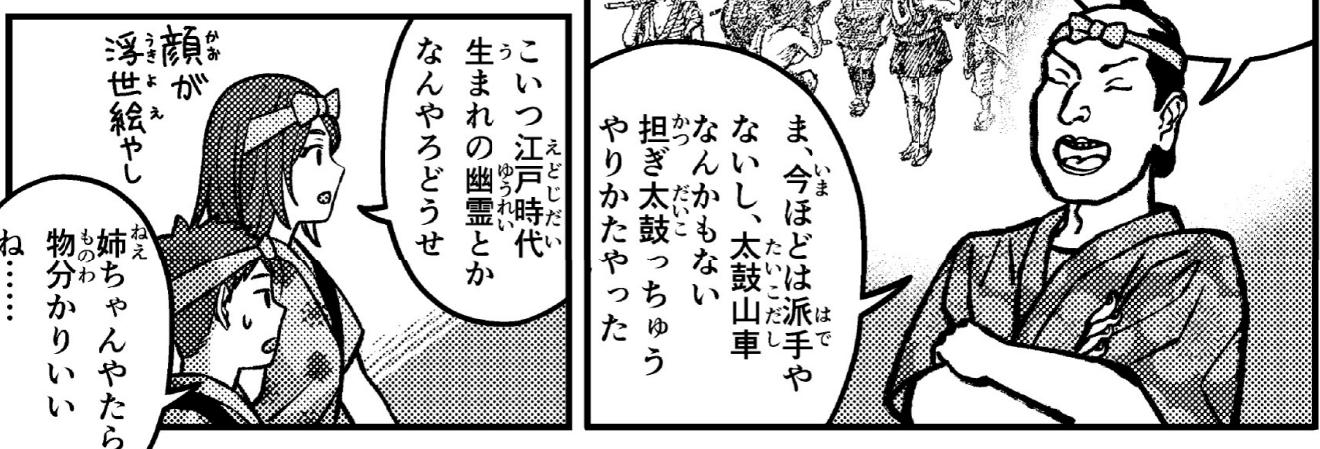
あたしが史上最強の
打ち手っち證明
してやるっしゃ！

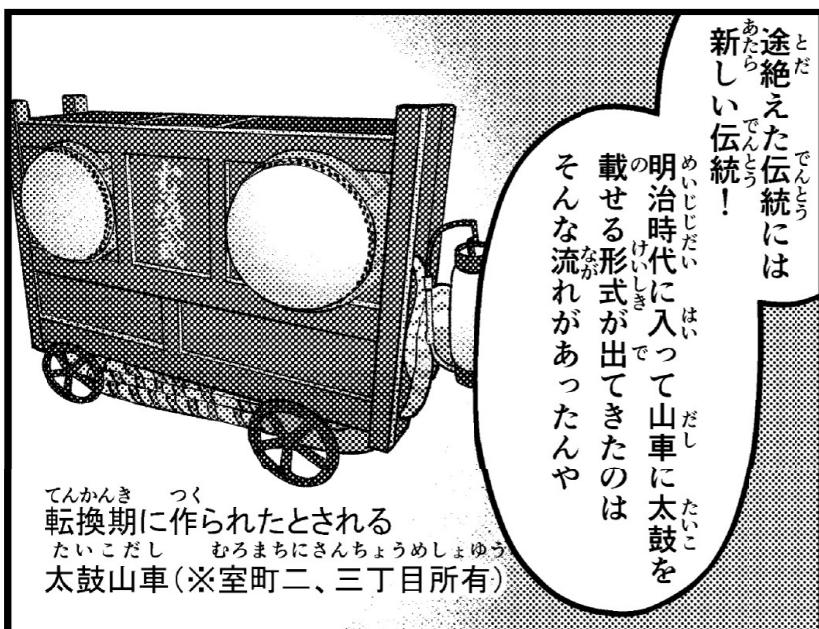




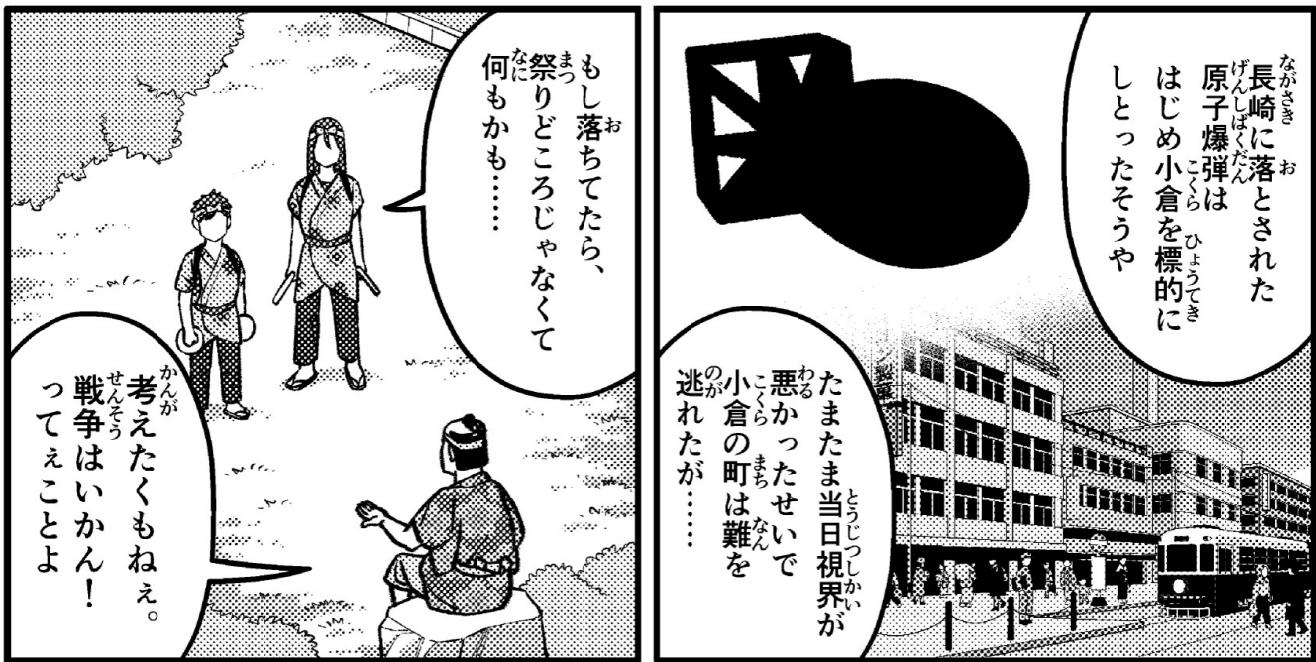


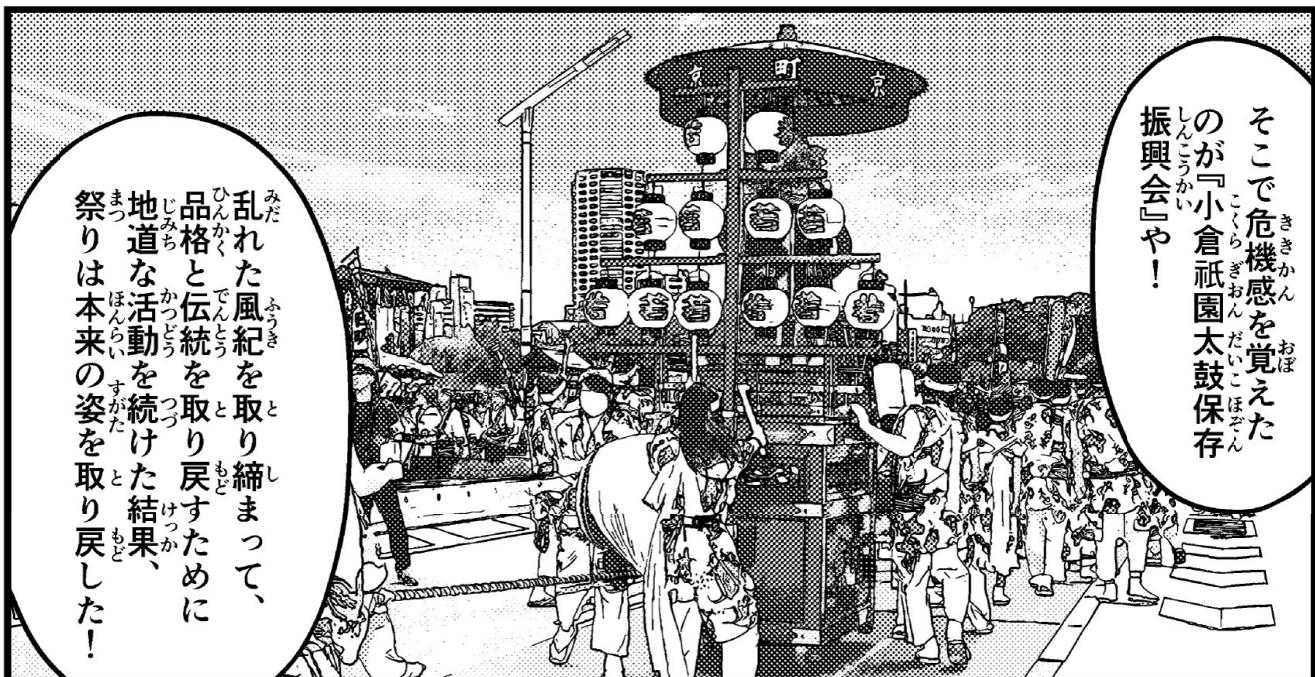
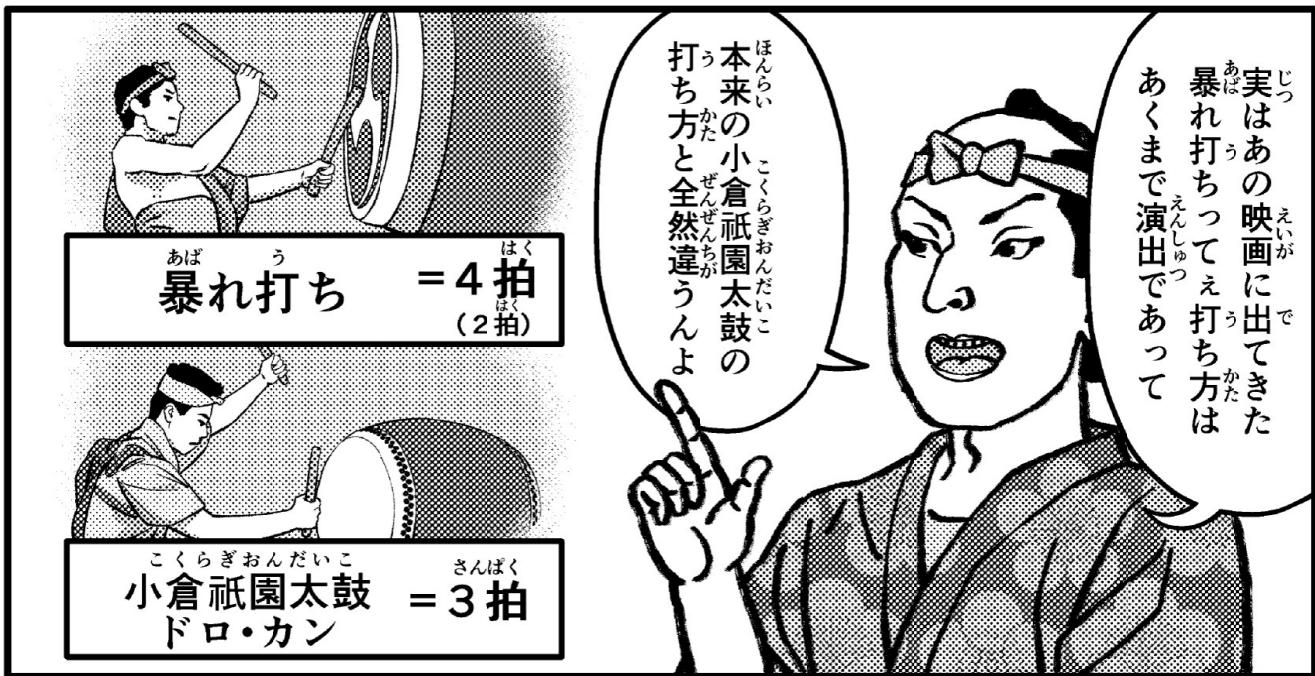


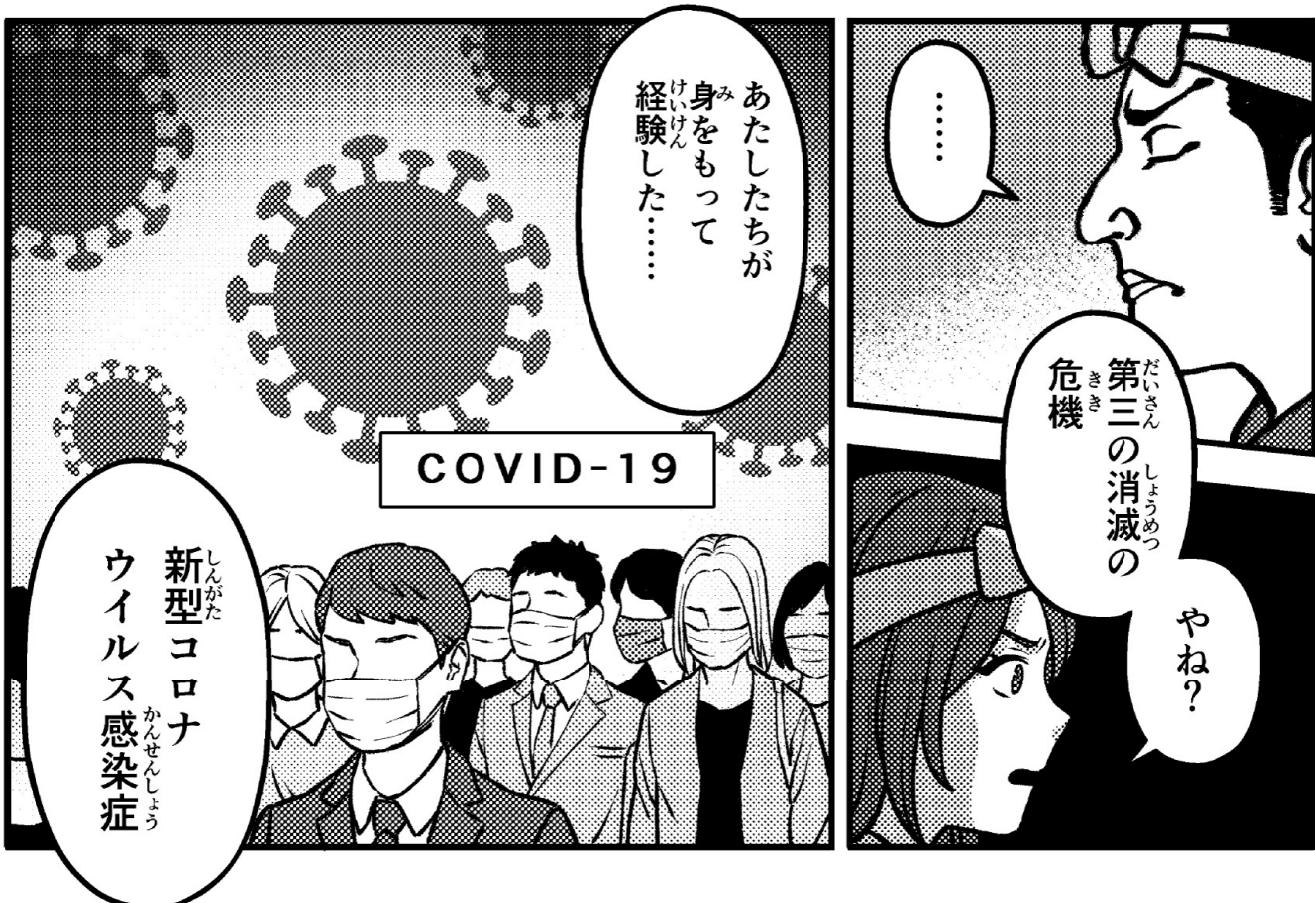










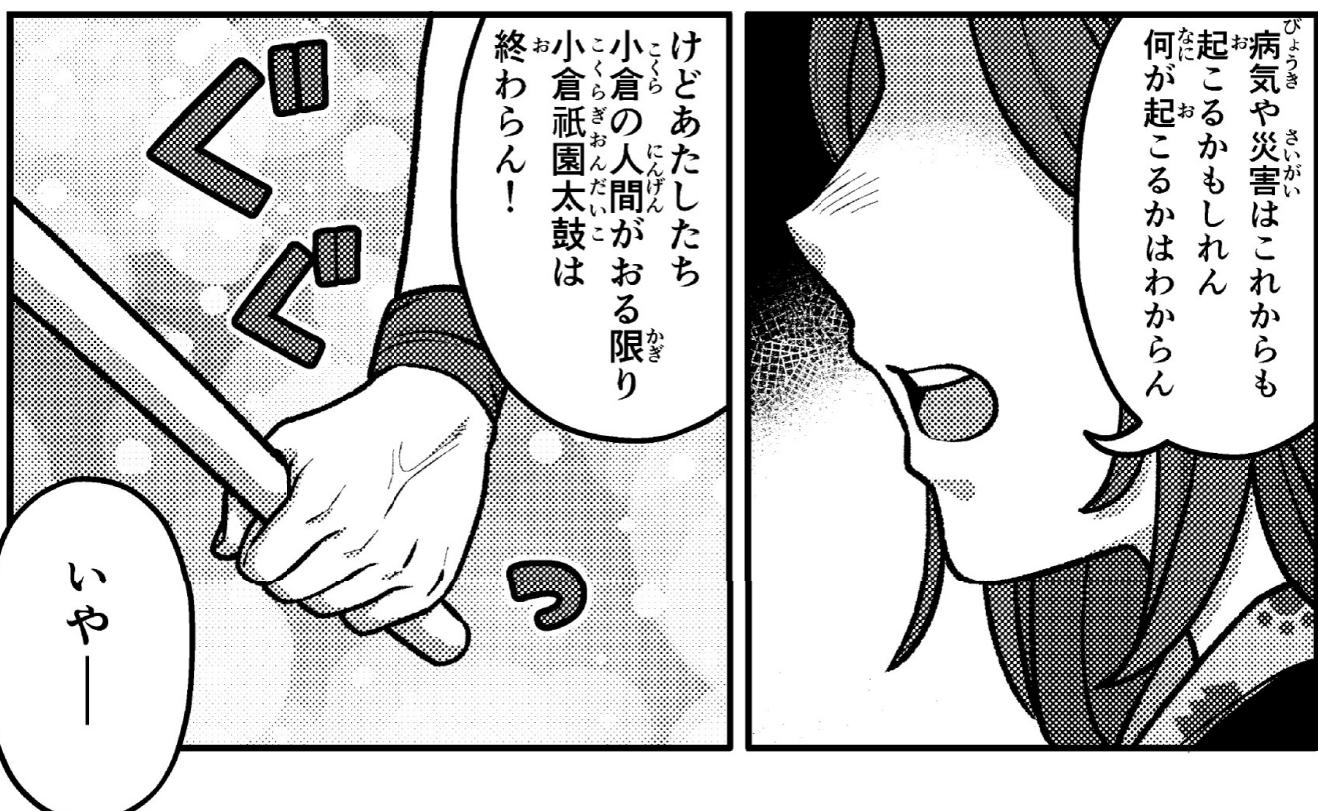




その通り
よんひやくしゅうねんの節目を迎えた
すぐ後に始まつた感染症の
せいで、小倉祇園太鼓も2年
連續で中止になつた

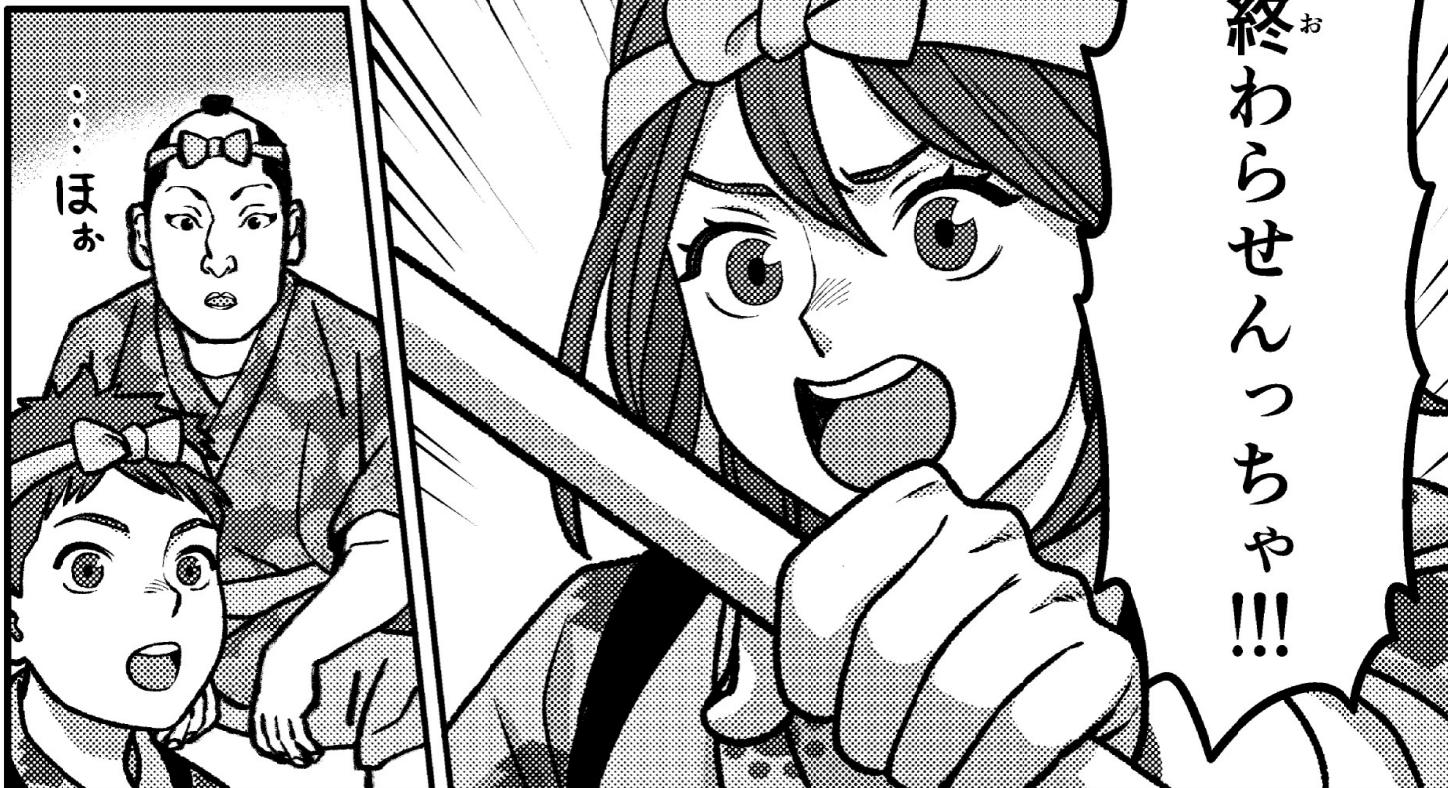


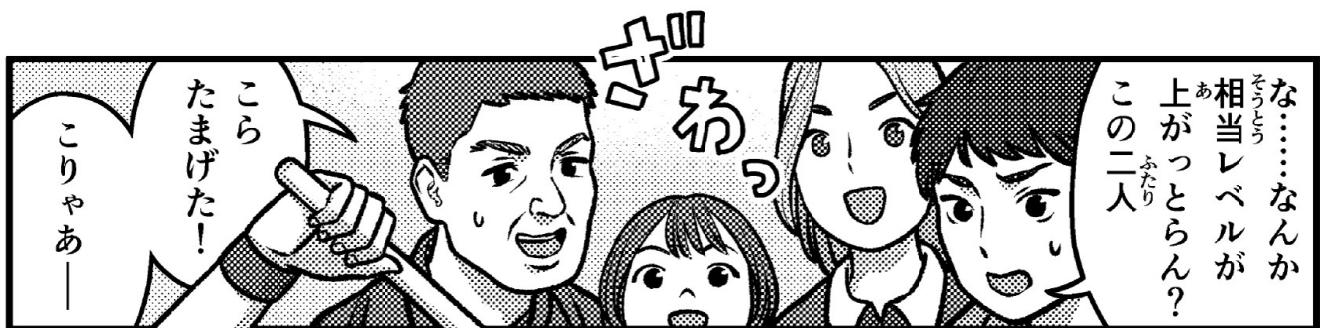
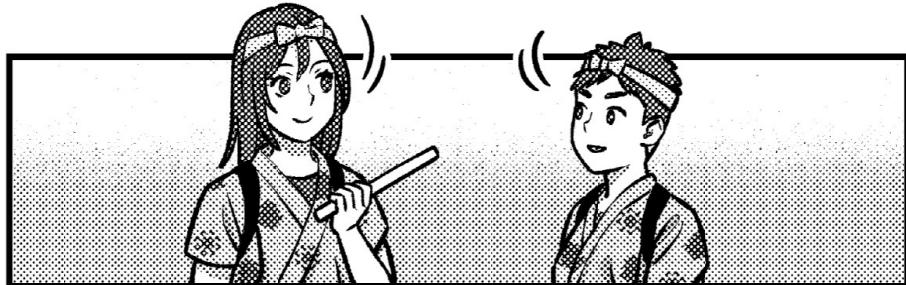
祭りだけじゃなく、僕たちの生活を大きく
変えた出来事だよね



病気や災害はこれからも
起ころるかもしだれん
何が起ころるかはわからん

終おわらせんつちや!!!





小倉の歴史

江戸時代が始まる。1602年、細川忠興が小倉城を築城。1632年には細川氏に代わり小笠原氏が小倉の地を治めるようになる。

⋮
⋮
⋮

小倉戦争により小倉城が焼失。

廃藩置県により小倉県が誕生。

小倉町の市制施行により小倉市となる。

太平洋戦争が起こる。

⋮
⋮
⋮

広島と長崎に原子爆弾が投下される。

太平洋戦争終結。

⋮
⋮
⋮

小倉城が再建される。

五市合併により、小倉区が誕生する。

小倉北区と南区に分かれ、7区制がスタート。

⋮
⋮
⋮
⋮

新型コロナウィルス感染症の世界的な流行により市民の生活が多方面で制限される。

⋮

1600
年頃

1617

1660

1866

1868

1900

1941

1943

1945

1958

1959

1963

1974

1990
年頃

2016

2019

2020

2022

小倉祇園太鼓の歴史

細川忠興公が祇園社（現・八坂神社）を建てる。それからほどなくして小倉祇園祭が始まる。

清三郎・清五郎が江戸で聞き覚えた山王神事の囃方を参考にして太鼓芸を始める。

小倉戦争の影響により、小倉祇園祭も大きな転換期を迎える。太鼓が主役のお祭りへ様変わりしていく。

映画『無法松の一生』公開。小倉祇園太鼓の名が全国に知れ渡る。

小倉祇園太鼓が福岡県指定無形民俗文化財に指定される。

創作太鼓の増加や風紀の乱れ等により祭りの伝統が軽視されるようになる。危機感を感じた『小倉祇園太鼓保存振興会』は伝統回帰のため、2000年代の後半から祭りの健全化に取り組んだ。

国の「選択無形民俗文化財」になる。

国の「重要無形民俗文化財」に指定されるとともに、400周年を迎える。

新型コロナウィルス感染症の影響により、祭りが2年間中止される。

部分的な制限を設けながらも小倉祇園太鼓が再開される。



小倉祇園太鼓トリビア

小倉祇園太鼓の衣装は全国的に珍しい浴衣姿ですが、これは江戸時代に小倉祇園祭がお殿様に認められたお祭り（神事）であるとの名残りなのです。

おぎおんさん

7月1日 本祭りまでの期間	山鉾すす払い	太鼓台開き	打ち初め式
	小倉北区役所に飾られている大門町の山鉾を手入れします。	太鼓練習の解禁日。この日から町中に太鼓の音が鳴り響きます。	太鼓解禁を祝う恒例行事です。たくさんの太鼓が小倉駅周辺に集います。
本祭りまでの期間	太鼓練習	お潮井とり	注連立て
	本祭りまで毎日町内各所で伝統の太鼓芸を伝承し、技を磨きます。	7月10日に八坂神社の境内で行われる行事。祈祷で清められた真砂を持ち帰り、祭り期間中の無事を祈ります。	本祭り前各町内の出入り口に幟などを立て、本祭りに備えて敷地を清める行事です。

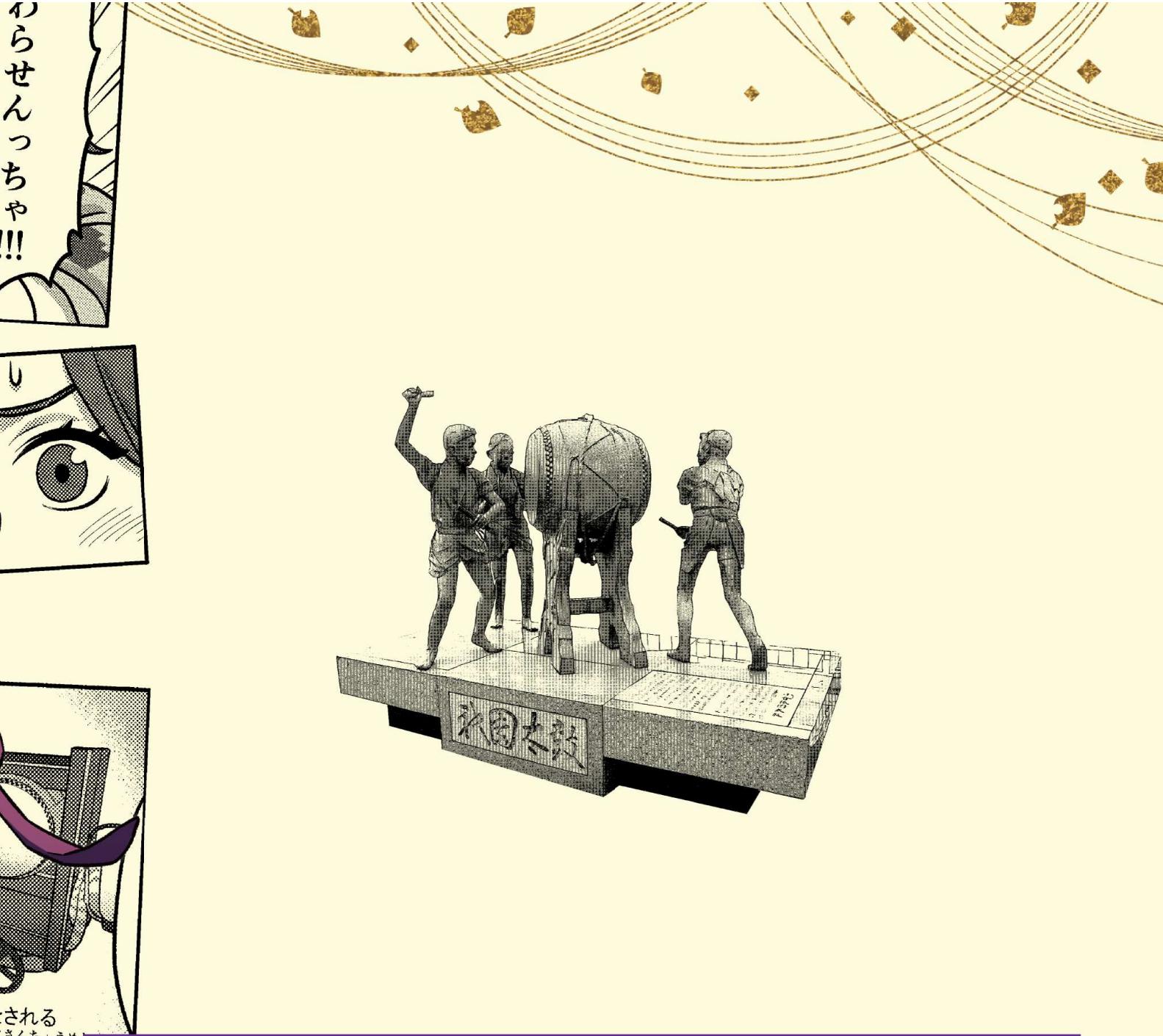
本祭り（七月第三土曜を挟む金・土・日）	金・宵祇園	御神幸	町内廻り	おもてなし太鼓 据え太鼓披露会場
	土・大賀わい	御還幸	子ども競演会	
	日・打ち納め	体験山車の運行	太鼓総見	
		八坂神社の御神体をお遷しした神山が小倉のまちに「お下り」される行事。まちの頓宮まで渡御し、一夜を過ごします。	江戸期から続く祇園祭本来の行事で地元町内を練り歩き、一年間の無病息災、商売繁盛を祈念します。	
		頓宮で一夜を過ごした御神体が八坂神社に「お上り」される行事です。	中学生以下の子どもたちが打ち手を務め、練習の成果を披露し、また団体のチームワークも合わせて競い合います。	
		祭り前に開催された太鼓塾の受講生が、実際の祭り会場で、本祭りを模擬体験します。	各団体に脈々と受け継がれる個性豊かな伝統の太鼓芸を披露します。	

翌週末	おおきつねお 大狐落とし
	小倉っ子の太鼓熱はまるで「キツネがついたようだ」と称され、「ハレ」の舞台から「日常」へ戻るための大切な行事です。



小倉祇園太鼓の歴史をアニメーションで学べる『太鼓でドドン』をYouTubeでご覧ください。アニメの他、実写映像を見ながらドロとカンの打ち方をゲーム感覚で学べるパートもあります。





小倉祇園太鼓に関するお問い合わせ先 －小倉祇園太鼓保存振興会－

小倉祇園太鼓保存振興会では、小倉祇園太鼓の歴史や伝統の太鼓芸を次世代に継承するため、子どもたちを対象とした太鼓塾を行なっています。また、観光客や外国の方に小倉祇園太鼓の魅力に触れていただくため、小倉祇園祭開催中、実際に太鼓を体験できる「おもてなし太鼓」を小倉北区役所と協同で開催しています。

電話：093-562-3341（平日 11 時から 15 時まで）



企画・制作 小倉北区役所 総務企画課